

ハッピー通信

53

ハッピー通信では毎月、当社のオリジナル賃貸住宅「ハッピーマンション」「ハッピーマイホーム」の現オーナー様、もしくは検討中のオーナー様に、コンサルティング事業部の高橋がインタビューを行い、その後の経営状態やサービスに関する感想などをお伺いします。



高橋：本日は、いわき市内の一等地に駐車場を所有されているS様にインタビューをさせていただきました。築40年のアパートも所有されており、「アパートの建て替えか？ 駐車場や新築の賃貸住宅か？」で迷われています。

S様は、不動産の運用において何を最重要とお考えですか？

S 様：当然、お金です。今のアパートは自分の代で更地にして終わり。その後の事は息子が考えればよいと思ってきました。しかし、私は80代、息子ももうすぐ60歳になります。高齢になる息子に高額な借入れをさせるのはどうかな？と思っています。

高橋：高齢化社会になり、60代の息子さんに継がせるというケースが多くなりました。年齢を重ねると、借入れに対する不安は増しますからね。

S 様：息子は何もしたくないようです。皆さんはどのように考えていますか？

高橋：土地の場所によって全く違います。S様のような一等地を所有されている方は有効活用を考えています。そうでない方は、売却や貸地を考えている方が多くなりました。

S 様：これだけ空き家が多くなれば、当然のことですよ。

高橋：賃貸住宅がなくなることはありません。家賃が安く、立地が良く、付加価値のある賃貸住宅には、まだまだ需要があります。ハッピーマンションが引き渡し前に満室になる要因です。ぜひとも、ハッピーマンションのご検討をよろしくお願いいたします。

人口が中心部から外に広がる時代から、内に集まる時代になりました。それぞれの宅地に一長一短があります。「建てれば何とかなる時代」はとうの昔に終わり、サブリースなどの制度に任せる時代も終わっていると思います。

インタビューより一言

コンサルティング事業部
課長

タカハシ ミツリ
高橋 光則



こんにちは、コンサルティング事業部の高橋です。来年、WBCの野球大会があります。日本の野球が世界的に注目されています。その理由を考えると一番の要因は低年齢からの野球指導だと思います。大リーグで活躍している選手のほとんどがリトルリーグなどの出身者です。小学校・中学校の野球部出身者は少ないと思います。「心・技・体」の教えを体得した代表的な選手が、大谷翔平選手だと思います。

